

第42回 長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

平成29年3月 発行

特別調査 人手不足下における中小企業の人材活用策について

長岡信用金庫 総合企画部
TEL(0258)36-4344

【実績】平成28年10月～平成29年 3月

<http://www.nagaoka-shinkin.com/>

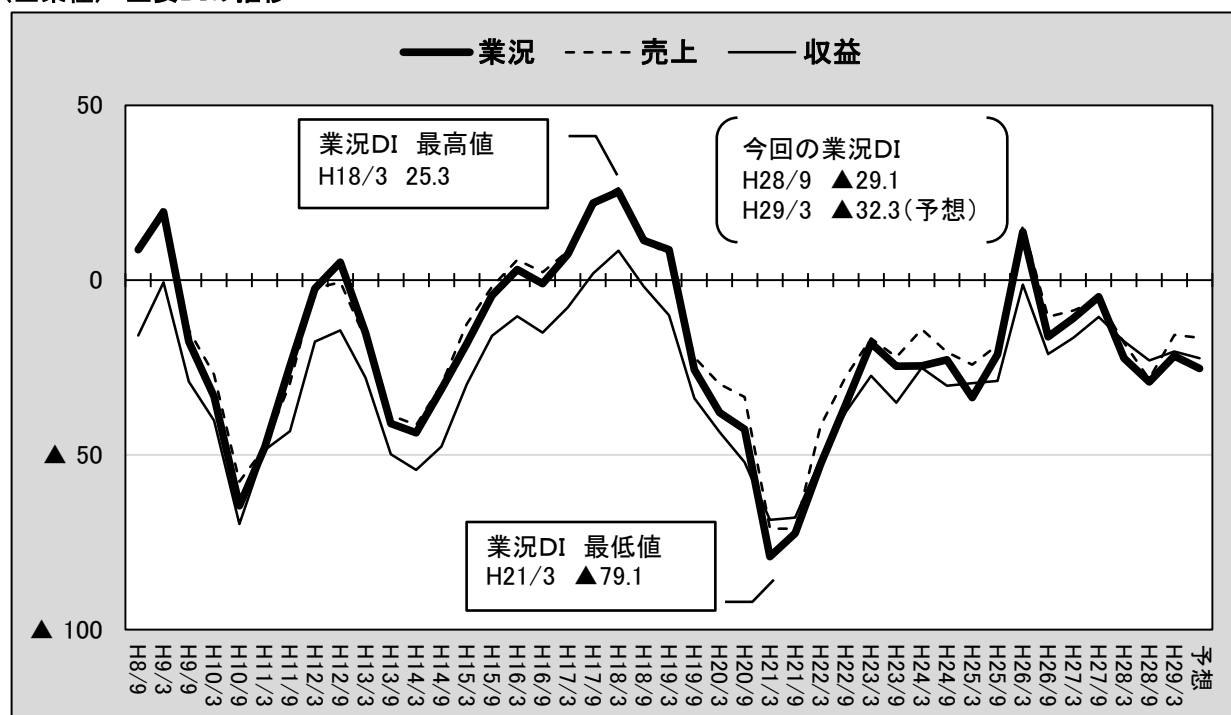
【予想】平成29年 4月～平成29年 9月

全業種において売上が改善。
女性の活躍推進について22.3%の企業が増やす方針と回答。

(全業種) 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 29.1	7.4 (改善)	▲ 21.7	-3.6 (悪化)	▲ 25.3
売上	▲ 28.3	12.6 (改善)	▲ 15.7	-0.9 (横這)	▲ 16.5
仕入価格	10.2	12.3 (悪化)	22.5	0.9 (横這)	23.3
販売価格	▲ 7.9	-0.5 (横這)	▲ 8.4	-4.4 (悪化)	▲ 12.8
収益	▲ 23.0	2.6 (改善)	▲ 20.4	-1.8 (悪化)	▲ 22.3
在庫	4.9	-1.1 (改善)	3.8	-5.2 (改善)	▲ 1.4
受注残高	▲ 21.9	4.5 (改善)	▲ 17.4	2.8 (改善)	▲ 14.6
資金繰り	▲ 8.3	-2.2 (悪化)	▲ 10.4	-7.4 (悪化)	▲ 17.8
人手	▲ 21.7	-6.1 (悪化)	▲ 27.8	-3.9 (悪化)	▲ 31.7
設備状況	▲ 11.5	2.3 (改善)	▲ 9.1	-1.7 (悪化)	▲ 10.9

(全業種) 主要DIの推移



(業種別) 前回、今回、予想の比較

(製造業)

・業況、売上、収益ともに改善。予想は悪化見込み。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 33.3	18.9 (改善)	▲ 14.4	-8.9 (悪化)	▲ 23.3
売上	▲ 31.1	17.8 (改善)	▲ 13.3	-13.4 (悪化)	▲ 26.7
収益	▲ 25.6	12.3 (改善)	▲ 13.3	-10.3 (悪化)	▲ 23.6

(建設業)

・売上は改善するも、収益は悪化。予想は改善見込み。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 17.0	0.0 (横這)	▲ 17.0	1.6 (改善)	▲ 15.4
売上	▲ 15.1	5.7 (改善)	▲ 9.4	9.4 (改善)	0.0
収益	▲ 13.2	-7.6 (悪化)	▲ 20.8	3.8 (改善)	▲ 17.0

(卸売業)

・売上は改善。業況、収益は悪化。予想は改善見込み。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 31.6	-5.2 (悪化)	▲ 36.8	10.5 (改善)	▲ 26.3
売上	▲ 31.6	5.3 (改善)	▲ 26.3	10.5 (改善)	▲ 15.8
収益	▲ 26.3	-5.3 (悪化)	▲ 31.6	10.5 (改善)	▲ 21.1

(小売業)

・売上は改善。業況、収益は悪化。予想は改善見込み。

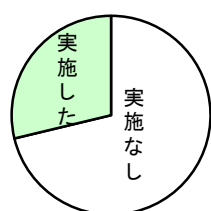
	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 37.9	-13.8 (悪化)	▲ 51.7	10.3 (改善)	▲ 41.4
売上	▲ 44.8	6.9 (改善)	▲ 37.9	31.0 (改善)	▲ 6.9
収益	▲ 31.0	-13.8 (悪化)	▲ 44.8	17.2 (改善)	▲ 27.6

(その他)

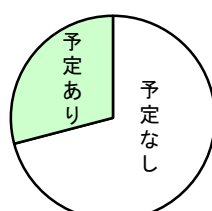
・業況、売上、収益ともに改善。予想は悪化見込み。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 28.2	12.8 (改善)	▲ 15.4	-15.4 (悪化)	▲ 30.8
売上	▲ 25.6	17.9 (改善)	▲ 7.7	-15.4 (悪化)	▲ 23.1
収益	▲ 23.1	10.3 (改善)	▲ 12.8	-10.3 (悪化)	▲ 23.1

(全業種) 設備投資の実施と予定

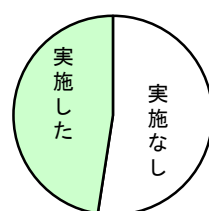


実施した
28.8%

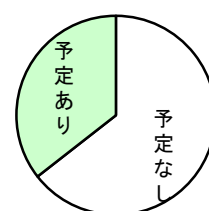


予定あり
29.1%

(全業種) 借入の実施と予定



実施した
47.6%



予定あり
35.6%

(業種別) 経営上の問題点について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	19.1%	20.7%	19.3%	17.9%	18.6%	16.3%
人手不足	12.0%	12.9%			12.9%	
同業者間の競争激化	11.1%		14.5%	14.3%	12.9%	18.4%
利幅の縮小		6.0%	13.8%	12.5%		15.3%
材料価格の上昇		6.0%				

(業種別) 当面の重点施策について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	19.9%	19.1%	19.4%	24.5%	20.3%	19.8%
経費を削減する	15.3%			14.3%	20.0%	15.3%
情報力を強化する			17.2%	16.1%		22.4%
人材を確保する	16.8%	17.7%	19.3%		18.6%	
技術力を強化する		17.7%				

(業種別) 調査員のコメント

(製造業)

- ・フリーペーパーへの掲載等積極的に店舗PRを行っており、新規来店者も増加している。製造技術の向上と効率化を図り、労働時間の短縮を課題とし取り組み中。
- ・職人が多い職場であり、女性・外国人には厳しい環境。職人の高齢化に伴い従業員募集を行っているが、全く影響がない状況。
- ・主力取引先の工作機械向け受注が減少。食品・産業機械向けは安定。
- ・半導体関連の受注が好調に推移している。受注量の増加今後も続くことが見込め、現工場手狭となってきたことより増築を検討中。経験技術を有した高齢者、技術系学卒の新採用の考えあり。
- ・受注増加、人手不足に対応する為、無人運転可能な機械を増設。慢性的な人手不足に対応すべく、環境整備(更衣室等)のうえ女性パート社員の雇用を増やす予定。
- ・定年は特に設けていない。75才の従業員もいる。技術の承継が課題と認識している。

(建設業)

- ・他業種への進出も考えており、M&A等の情報も興味がある。
- ・JR工事を主力とし業況安定しているものの、今後は若手従業員の技術力向上と人材確保が課題。
- ・経営者、従業員の高齢化に加え、地域経済低迷の影響もあり受注は激減。業界の先行き不透明感、後継者不在であることからM&Aを利用した早急な事業譲渡を希望。
- ・宅地造成された敷地を取得。今後土地の販売及び建物新築の需要を発掘していく。人気の高いエリアを取得したことにより、今後業績回復が見込まれる。

(卸売業・小売業)

- ・少子化により売上落ち込んでおり、経営のスリム化を進めている。
- ・ネット販売での売上比率が上昇しており、利幅が減少傾向。梱包、配送面での人手不足が課題。
- ・製造部門において高齢化が進んでおり、今後は機械化を図り生産の合理化を図る方針。
- ・各種経営課題の解決と顧客の幅広いニーズに応えるため工場増設を考えており、用地確保に向け交渉を進めている。
- ・平成29年度人材採用に向けて大卒採用をスタートさせた。昨今のブラック企業対策の動きから最新の離職率の提示など手間がかかり、コストがかかるが、良質人材の確保が喫緊の課題である。

(その他)

- ・接待減少により売上低迷、全国的な不漁により仕入価格上昇。
- ・同業他社とのコンペが激化しており、公共工事が減少の中、パイの奪い合いの状況。
- ・少子高齢化に伴い、賃貸アパートなどは供給過剰傾向にある。
- ・燃料が一時高騰したが、直近では安定してきている。現場は高齢化が進んでおり、人材不足の状況から継続雇用を促す方針。

特別調査 人手不足下における中小企業の人材活用策について

問1

少子高齢化社会の進展にともない、企業経営上の課題の一つとして人手不足がクローズアップされています。こうしたなか、女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業員数に占める女性の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、女性が最も活躍していらっしゃる職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1～5、6～0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(割合)		(最も活躍している職務分野)	
1. 10%未満	37.2%	6. 営業・販売・接客	16.6%
2. 10%以上30%未満	34.1%	7. 総務・経理・庶務	57.8%
3. 30%以上50%未満	15.0%	8. 企画・管理・研究開発	0.9%
4. 50%以上70%未満	9.7%	9. 製造・生産・現場作業	21.1%
5. 70%以上	4.0%	0. その他()	3.6%

問2

問1と同様、高齢者（ここでは60歳以上を想定）の活躍推進について、貴社の従業員数に占める高齢者の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、高齢者が最も活躍している職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1～5、6～0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(割合)		(最も活躍している職務分野)	
1. 10%未満	50.9%	6. 営業・販売・接客	20.1%
2. 10%以上30%未満	31.0%	7. 総務・経理・庶務	8.2%
3. 30%以上50%未満	7.1%	8. 企画・管理・研究開発	2.3%
4. 50%以上70%未満	8.0%	9. 製造・生産・現場作業	58.4%
5. 70%以上	3.1%	0. その他()	11.0%

問3

問1と同様、外国人の活躍推進について、貴社の従業員数に占める外国人の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、外国人が最も活躍している職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1～5、6～0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(割合)		(最も活躍している職務分野)	
1. 10%未満	96.8%	6. 営業・販売・接客	2.2%
2. 10%以上30%未満	2.7%	7. 総務・経理・庶務	1.4%
3. 30%以上50%未満	0.5%	8. 企画・管理・研究開発	0.7%
4. 50%以上70%未満	0.0%	9. 製造・生産・現場作業	13.0%
5. 70%以上	0.0%	0. その他()	82.6%

問4

女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、貴社では、今後、どのようにお考えですか。あてはまるものを以下の1～9よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(女性の活躍)		(高齢者の活躍)		(外国人の活躍)	
1. 増やす方針	22.3%	4. 増やす方針	16.4%	7. 増やす方針	1.1%
2. どちらともいえない	73.7%	5. どちらともいえない	73.8%	8. どちらともいえない	89.3%
3. 減らす方針	4.0%	6. 減らす方針	9.8%	9. 減らす方針	9.6%

問5

政府は、「働き方改革実現会議」において、以下の9項目を課題として検討しています。これら9項目のうち、貴社が注力しようと考えているものを以下の1～0より3つ以内で選んでお答えください。

1. 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善	3.5%	6. 女性・若者が活躍しやすい環境整備	23.0%
2. 賃金引き上げと労働生産性の向上	23.4%	7. 高齢者の就業促進	12.9%
3. 長時間労働の是正	13.8%	8. 病気の治療、子育て・介護と仕事の両立	7.7%
4. 柔軟な転職支援、格差是正のための人材育成	3.9%	9. 外国人材の受入れ	0.7%
5. テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方	1.3%	0. 特になし	9.8%

調査要領

調査時点 : 平成29年3月

調査方法 : 当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査

対象期間 : 【実績】平成28年10月～平成29年3月 【予想】平成29年4月～平成29年9月

調査地域 : 当金庫営業地域(長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市)

調査先 : 230先(回収率100.0%)

分析方法 : 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。